

アンケート調査に協力いただいた皆様へ

「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第3版発刊後アンケート調査」について

はじめに

当院では、2018年10～11月並びに2020年10～11月まで日本痛風・尿酸核医学会のアンケート調査に協力された方を対象に、アンケート用紙への回答情報から得られる情報をもとに後ろ向きに研究を実施しています。

この研究は米子医療センター倫理審査委員会の承認を受けて実施しています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、2018年10～11月並びに2020年10～11月までの期間に、日本痛風・尿酸核医学会のアンケート調査に協力された方を対象に、アンケート用紙への回答情報から得られる情報を集めさせていただき、「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第3版発刊後アンケート調査」を行います。

すべての情報は、研究責任者（久留一郎）が責任を持って保管、管理します。

本研究に参加される方は、他の研究参加者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 取り扱う情報（測定項目）

参加された方のカルテ等の診療情報から以下の項目を集めさせていただきます。

【アンケート調査に協力を頂いた情報】

性別、年齢、専門分野、所属、病院規模及び2018年並びに2020年のアンケート（高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第3版の7つのクリニカルクエスチョンにもとづく設問、ガイドライン使用状況の関する設問）

3. 研究期間

この研究は、研究の実施を許可した日から2024年12月31日まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

参加された方の情報は、研究責任者（久留一郎）が責任をもって保管、管理します。また、氏名、イニシャル、住所、電話番号、カルテ番号などの直ちに個人を識別できる個人情報は

匿名化*され、本研究では匿名化された情報を使用、提供します。また、本研究でご提供いただいた情報は、本研究目的以外で使用されることはありません。このようにして参加された方の個人情報の管理については十分に注意を払います。

*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、氏名、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどの参加された方のものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報と個人を結びつけることのできる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

利益・・・今回の研究に情報をご提供いただいた個人には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は、診療ガイドラインの有用性を検討することができ、将来の治療ガイドラインの作成に有益となる可能性があります。なお、情報を使用させていただいた方への謝礼等もありません。

不利益・・・アンケート調査からの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただき情報が医学の発展に伴い、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、情報は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画をたてて研究に参加する医療機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報は、当該研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保存します。保存期間終了後は、個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

個人の情報を研究に用いられたくない場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めを希望された場合でも、何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出ください。

取り止めの希望を受けた場合、情報を使用することはありません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。

しかし、取り止めを希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、特別な研究費用を必要とせず、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に個人情報明らかになることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は国立病院機構 米子医療センターに帰属し、あなたには帰属しません。

11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、情報が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、情報の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

【研究責任者】

久留 一郎 国立病院機構 米子医療センター

〒693-0006 鳥取県米子市車尾 4-17-1

TEL : 0859-33-7111 / FAX : 0859-34-1580

*この研究に関する情報は、米子医療センターのホームページに掲載しております。
(URL : <https://yonago-mc.hosp.go.jp/>)

【アンケート設問】

(2018年、2020年共通)

- 1) CQ1: 痛風発作に対して NSAID, グルココルチコイド、コルヒチンが使用できますが、どの治療が最も好ましいと考えますか？
- 2) CQ2: 腎障害を有する高尿酸血症患者に腎機能低下を抑制する目的で、尿酸降下薬を用いますか
- 3) CQ3: 高尿酸血症合併高血圧患者に対して、生命予後ならびに心血管病発症リスクの軽減を目的として尿酸降下薬を使用しますか？
- 4) CQ4: 痛風結節を有する患者に対して、薬物治療により血清尿酸値を 6.0mg/dL 以下を目指しますか？
- 5) CQ5: 高尿酸血症合併心不全患者に対して、生命予後改善を目的として尿酸降下薬を投与しますか？
- 6) CQ6: 尿酸降下薬投与開始後の痛風患者に対して、痛風発作予防のためにコルヒチンカバー（コルヒチン予防的治療）をしますか？
- 7) CQ7: 無症候性高尿酸血症の患者に対して、食事指導を行っていますか？
- 8) CQ8: 新しいガイドラインを日常診療で用いていますか（用いるつもりですか）？
- 9) CQ9: 新しいガイドラインの上記 CQ1~7 は日常診療に役立ちますか（役立つと思いますか）？
- 10) CQ10: 新しいガイドラインから新たな臨床研究や次のガイドラインの CQ となるべき課題が見つかりますか（見つかると思いますか）？

(2020年に新設したもの)

- 11) CQ11: 本ガイドラインに示された「高尿酸血症・痛風の治療アルゴリズム」は先生方にとってわかりやすいですか？
- 12) CQ12: 本ガイドラインを使用して、あなたの治療方針に変化がありましたか？
- 13) CQ13: 本ガイドラインを使用して、高尿酸血症・痛風の治療に自信がつけましたか？
- 14) CQ14: 本ガイドラインを患者との意思決定に使用していますか？
- 15) CQ15: 本ガイドラインは、高尿酸血症・痛風治療に関する医師の裁量を拘束すると考えますか？
- 16) CQ16: 本ガイドラインを医学生や研修医の教育に使用していますか？
- 17) CQ17: 本ガイドラインを医師以外の医療職と連携するために使用していますか？
- 18) CQ18: 最後に、今回の「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第3版」に対して、お考え（印象、ご意見など）をお聞かせください（自由記載）。